

令和 5 年 12 月 4 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム生馬の郷

サービス種類…（介護予防）認知症対応型共同生活介護

次回会議開催予定日…1 月中

開催場所…グループホーム生馬の郷 相談室

出席予定者

事業所	3 人	利用者	人
利用者家族	1 人	地域代表者	4 人
松江市職員	人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	人	その他（ ）	人

議事・議題

- 入居者の状況(平均介護度、平均年齢、行事など)について資料を基に説明。
- 自己評価、外部評価結果について資料をもとに説明。

【意見】

保全会会長：災害時、生馬で何かあれば炊き出し等、出来ることは生馬町としても対応したい。協力関係を築いていきたい。

原発について、避難先は大田市に指定されており、数年に一度バスで大田まで実際に避難訓練があるので、施設の職員も実際に同行してみた方が色々と分かっていいのではないかな。

家族：足元のセンサーマットはなぜ身体拘束になるのか？

→センサーが鳴ると職員が訪室しないといけませんが、そのことによってその方の自由に動きたい気持ちを阻止してしまうお恐れがあるため、拘束にあたるのではないかと考え、使用する際は家族に同意書をもらっている。施設では身体拘束委員会を立ち上げ定期的に話し合いをし、外す努力を行っている。

包括：地域の方との関係が良好でよいと思った。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○